

## 指針に基づく情報公開

放射線影響研究所では、個人情報保護法に基づく研究倫理指針を遵守し、この研究については、対象となる方のお一人ずつに直接説明を行い同意を得る代わりに、情報を公開することにより試料・情報を利用させていただいています。

研究成果は学会や学術誌等で発表されますが、お名前、ご住所などの情報が公表されることはありません。

ご自身または代諾者等が、試料・情報をこの研究に使用してほしくないと思われる場合、研究計画の概要をご覧になりたい場合、その他研究に関することは「問い合わせ先」へご照会ください。ご照会された場合でも、なんら不利益を受けることはありません。

研究計画書番号	RP6-15
研究課題名	東電福島第一原発緊急作業従事者に対する疫学的研究 －放射線影響研究所から労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所への 資・試料の移譲に関して－
研究責任者（所属）	大久保利晃（労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所）
放影研での研究責任者	大石和佳
試料・情報の利用目的及び 利用方法	利用目的： 東電福島第一原発緊急作業従事者に対する疫学的研究は、放射線影響研究所（放影研）が統括研究機関となり、第1期（2014年度からの5年間）の調査を行ってきました。第2期（2019年度からの5年間）より、統括研究機関が放影研から労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所（安衛研）に移行し、安衛研が研究を承継して調査を実施することとなりました。そこで、放影研が第1期に個人同定可能な情報として集約し個々の対象者ごとに関連付けを行ったうえで一元的に保管している資・試料を、安衛研へ移譲し、今後の研究に用いることを目的としています。 利用方法： 第1期（2014年度からの5年間）に放影研が集約、保管してきた同意書や質問票等の紙資料、電子データが記録されたCDやUSB等の電磁的記録媒体、本研究専用のサーバーに記録・保存されている電磁的記録、血液・尿の保存試料を安衛研へ移譲します。移譲した紙資料およびCDやUSB等の電磁的記録媒体は、施錠可能な部屋の施錠可能な保管室の施錠可能な保管庫に保管されます。移譲した電磁的記録は、施錠可能な部屋に設置された本研究専用のサーバーに記録・保存され、許可された者のみが操作します。移譲した保存試料は、施錠可能な部屋に設置された本研究専用の超低温冷凍庫に保管されます。
他の機関への提供の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有（提供先機関：労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所） <input type="checkbox"/> 無
利用し、又は提供する 試料・情報の項目	提供する資料 ● 紙資料：健診参加意向調査回答書、東電福島第一原発緊急作業従事者

	<p>に対する疫学的研究への協力に関する同意書、放射線影響協会理事長宛の同意書、健康と生活習慣に関する質問票等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● CD や USB などの電磁的記録媒体：東電福島第一原発作業員の長期的健康管理システム登録情報（厚生労働省より）、被ばく線量情報（放射線影響協会より）、甲状腺超音波画像（健診機関より）、尿中 8-OHdG 測定データ（産業医科大学より）等</li> <li>● 本研究専用のサーバーに記録・保存されている電磁的記録：健康診断の検査結果、健診参加意向調査回答書や東電福島第一原発緊急作業従事者に対する疫学的研究への協力に関する同意書の情報、健康と生活習慣に関する質問票の情報、東電福島第一原発作業員の長期的健康管理システム登録情報、被ばく線量情報、血液・尿の保存試料の情報等</li> </ul> <p><u>提供する試料</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 保存試料：健康診断の際に、血液・尿の保存に同意いただいた方の血液・尿試料</li> </ul>
利用する者の範囲	<p>提供を受ける研究組織：労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所 研究代表者 大久保利晃</p>
試料・情報の管理に責任を有する者の氏名又は名称	<p>情報を提供する研究組織：放射線影響研究所 大石和佳</p> <p>提供を受ける研究組織：労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所 大久保利晃</p>
統括個人情報保護管理者	<p>放射線影響研究所 業務執行理事 児玉和紀</p>
問い合わせ先	<p><b>【研究担当者】</b> 氏名：大石和佳 公益財団法人 放射線影響研究所 臨床研究部 住所：広島市南区比治山公園 5 番 2 号 TEL：082-261-3131</p>